

セキュリティの概念、実装、運用/管理において  
「How to (どのようにすべきか)」を理解し  
スキルを身に付ける認定資格

# Security+

## Protect Your Organization with Security+ Certification



CompTIA Security+認定資格を保有する  
社員を登用することでビジネスを  
セキュリティの脅威から保護できます

### 価値ある認定資格

米国防総省はSecurity+認定資格を非常に高く評価し、指令書8570.01-Mにより取得を必須と規定しています。

### グローバルな認知

CompTIA Security+は、国際的に認知された資格としての信用があります。現在、世界147カ国でSecurity+認定資格を持つプロフェッショナルが活躍しています。

### 脆弱性の軽減

セキュリティ違反は、収益や生産性の損失につながるのと同時に、会社の評判を著しく傷つける恐れもあります。Security+認定資格を持つ社員を登用することで、セキュリティ脅威を確実に管理できます。

### 費用対効果：ROI

顧客データが危険にさらされることで、組織にとり、重大な経済的損害が生じる可能性があります。CompTIA Security+認定資格を持つスタッフに投資することで、効率的に企業のリスクを軽減し、ビジネスを安全でコントロールされた状態に保つことができます。

### 高いスキルを有する社員

採用担当マネージャの91%が、専門知識/技術を確認する上でCompTIA認定資格が有効であると述べています。Security+認定資格では、ネットワークセキュリティ、コンプライアンスと運用セキュリティ、脅威と脆弱性、ホスティングセキュリティ、アクセスコントロールと認証マネジメントに加え、暗号化のスキルが証明されます。<sup>1</sup>

### 信頼される専門知識/技術

Security+認定資格を取得することで、組織のITセキュリティ問題に対する、信頼性の高い情報源の役割を担うことになります。

### ロイヤリティの高い社員

認定資格を取得している社員の84%は、会社を辞めずに働き続けるため、スキルの高い従業員から長期に渡り恩恵を受けることができます。<sup>2</sup>

### 需要の高い人材

セキュリティ脅威がつかないほど増大するに伴い、あらゆるIT専門分野の中でもセキュリティプロフェッショナルやセキュリティ資格を有するITスタッフのニーズが高まっています。

### キャリアの向上

Security+認定資格は、セキュリティやITシステム管理分野でより高い報酬が得られるキャリアを目指す上で役立ちます。

### より良い給与を得る

Security+取得により、知識とスキルを証明し、より高い報酬を得ることができます。一部のセキュリティスペシャリスト、セキュリティアーキテクト、セキュリティエンジニアの年収は86,000ドルに上ります。<sup>3</sup>



### “業界の業界による 業界のための資格”

CompTIA認定資格は、試験作成委員会が中心となり、ニーズ調査・職務分析・リサーチを経て、SME（サブジェクトマターエキスパート）と呼ばれる現場関係者により開発が進められます。

### CompTIA Security+ SME

- 海外/一部抜粋
  - Federal Bureau of Investigation (FBI)
  - IBM
  - Information Systems Audit and Control Association (ISACA)
  - Information Systems Security Association (ISSA)
  - Microsoft
  - Motorola
  - Novell
  - RSA Security
  - Sun Microsystems
  - Symantec
  - VeriSign

### ■ 日本 (50音順)

- 株式会社クエスト
- 株式会社クリエイトラボ
- 富士ゼロックス東京株式会社
- 株式会社ラック
- リコージャパン株式会社

<sup>1</sup> 出典：CompTIA Employer perceptions of IT Training and Certification

<sup>2</sup> 出典：CompTIA's 2nd Annual IT Career Insights Study

<sup>3</sup> 出典：Bureau of Labor Statistics, Computer and Information Technology Occupations,



CompTIA Security+取得後は、次のようなキャリアで活躍できます

- セキュリティアーキテクト
- セキュリティエンジニア/セキュリティ管理者
- セキュリティコンサルタント
- 情報保証に携わる技術者

様々なグローバル企業では、自社の社員の育成にSecurity+を必須/推奨資格として活用されています。

- U.S. Department of Defense (米国国防総省)
- IBM
- HP

CompTIA Security+は、国際的に広く認知されている規格であるISO/ANSI 17011、17024を取得しており、世界中の多くの企業や学校で活用をいただいています。最も顕著な例としては、米国国防総省の情報保証に関連する全ての人材に対し、CompTIA Security+は必須資格として活用されています。

CompTIA Security+認定資格試験には、多肢選択式の問題とパフォーマンスベースの問題の両方が含まれます。パフォーマンスベースの問題では、受験者はシミュレーション環境で回答を実行します。この試験では、ネットワークセキュリティ、コンプライアンスと運用セキュリティ、脅威と脆弱性、ホスティングセキュリティ、アクセスコントロールと認証マネジメントに加え、暗号化におけるスキルが証明されます。

## 主な出題範囲

CompTIA Security+認定資格試験では、セキュリティの大原則となる、セキュアなネットワークの維持とリスク管理について出題されています。アクセスコントロール、情報の管理、暗号化といったセキュリティには欠かすことのできない分野や、さらには、ネットワーク攻撃や脆弱性に対応するための適切な緩和と抑止方法などの分野からも出題されています。また、クラウドコンピューティング、BYOD、SCADAなどセキュリティへの懸念が高まる分野についても出題されています。

### CompTIA Security+ (試験番号 : SY0-401)

第1章 ネットワークセキュリティ	20%
第2章 コンプライアンスと運用セキュリティ	18%
第3章 脅威と脆弱性	20%
第4章 アプリケーション、データ、ホスティングセキュリティ	15%
第5章 アクセスコントロール、認証マネジメント	15%
第6章 暗号化	12%

## 試験実施概要

試験番号	問題数	制限時間	合格ライン
SY0-401	最大で90問	90分	100~900のスコア形式750以上

認定資格の詳細情報は、下記Webサイトをご覧ください:

[http://www.comptia.jp/cont\\_certif\\_securityplus\\_sy0-401.html](http://www.comptia.jp/cont_certif_securityplus_sy0-401.html)

## CompTIA Security+活用事例 : 米国国防総省での活用事例

米国国防総省 (The U.S. Department of Defense: DoD) は、効果的にDoDの情報、情報システム、情報インフラを守るため、十分に訓練され資格を取得した、マネージャ、テクニシャン、コントラクター、そして、特権的アクセスをもつユーザーなどすべての情報保証を必要とする人材に対し、「DoD Directive 8570.1M (米国国米総省指令8570.1M)」を要求しています。国家の安全に重要な仕事であるDoDに携わる全員の知識とスキルが高い水準のレベルであることを保証するため、DoDでは、CompTIA A+、Network+、Security+を含む資格取得を必須としています。

